

山梨大学医学部附属病院 [地域医療連携だより]

パートナー

2022

vol.4

令和4年8月発行

スタッフがワンチームとなって



【入退院支援センターのご紹介】



総合支援部
入退院支援センター長
市川 二郎

平素より地域の先生方には、山梨大学医学部附属病院への患者紹介をはじめ、多大なるご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

入退院支援センターは『入院支援室』『退院支援室』『在宅支援室』からなり、患者さんが迅速かつ円滑に治療を受けられるように、入院前から退院後、さらに、外来患者の在宅療養を支援しております。

入院前支援においては、看護師、薬剤師、栄養士、事務などの多職種で関わり、患者さんから情報を収集し、疑問・心配事に答えることで、入院までの不安な時間が解消できるように努めております。生活環境、治療歴から始まり、内服の種類、栄養状態、薬や食物アレルギーなど確認することは多岐に渡りますが、これら全てが安全・安心な入院・治療につながることは言うまでもありません。

退院支援においては、転院調整・在宅調整が主な業務であります。当院での急性期治療を終えて、在宅復帰にはもう少し時間が必要な場合に、回復期病院等への転院をお願いすることが多く、迅速かつ正確に情報提供できるように心掛けております。在宅調整においては、終末期や様々な医療処置を必要とする患者さんからの在宅療養相談が増えております。訪問診療をしていただける先生や訪問看護師、ケアマネジャーなどの皆様と積極的にカンファレンスを行い連携を図っております。

榎本病院長を中心にスタッフがワンチームとなって地域の先生・スタッフの皆様にも患者さんと同様に安全・安心を届けるべく頑張っております。

今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

セミナー・講演会等のお知らせ

対象：医療従事者

開催名	主催	開催日	開催場所	備考
山梨糖尿病療養指導士育成会研修会 1回	NPO法人 山梨糖尿病研究会	令和4年9月4日	オンライン	申込は9/1まで https://forms.office.com/r/UY1WbMd25a
肝疾患コーディネーター養成講座	山梨県、 山梨大学医学部附属病院	令和4年9月19日～ 10月16日	オンライン	申込は8/22～9/9まで co-yoseikoshu2022-as@yamanashi.ac.jp
山梨糖尿病療養指導士育成会研修会 2回	NPO法人 山梨糖尿病研究会	令和4年10月2日	オンライン	申込は9/22まで https://forms.office.com/r/UY1WbMd25a
山梨ストロークセミナー	山梨大学脳神経外科	令和4年10月7日	オンライン併用 (会場未定)	
第111回日本泌尿器科学会 山梨地方会学術集会	日本泌尿器科学会 山梨地方会	令和4年10月15日	古名屋ホテル	
Radiology Forum	放射線医学講座	令和4年10月20日	山梨大学医学部	
第12回山梨CT研究会	山梨CT研究会	令和4年10月21日	オンライン	
山梨糖尿病療養指導士育成会研修会 3回	NPO法人 山梨糖尿病研究会	令和4年11月6日	オンライン	申込は10/27まで https://forms.office.com/r/UY1WbMd25a
ストップ脳卒中 山梨支部講演会	山梨大学脳神経外科	令和4年11月9日	オンライン	
第24回 山梨大学整形外科セミナー	山梨大学整形外科	令和4年11月12日	アピオ甲府 (オンライン併用)	
Radiology Forum	放射線医学講座	令和4年11月16日	山梨大学医学部	

山梨県の循環器診療の向上を目指して

「循環器内科」のご紹介

循環器内科 教授 佐藤 明



循環器内科は、狭心症・心筋梗塞などの虚血性心疾患、弁膜症・心筋症による心不全、心房細動や心室頻拍などの不整脈疾患を中心に、最先端の循環器診療を行なっています。

これまで心血管インターベンション治療学会の研修施設として、最先端の冠動脈カテーテル治療の提供を年間200例程度行ってきました。また、2017年からは当院第二外科と連携を行い、重症大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)を200例程施行し、良好な成績を収めています。本年1月からは、僧帽弁閉鎖不全症に対する経カテーテル僧帽弁クリップ術(MitraClip)、7月から閉塞性肥大型心筋症に対する経皮的な中隔心筋焼灼術(PTSMA)などの新たな治療を開始しました。これらの高難度カテーテル治療は、山梨県内では唯一山梨大学医学部附属病院のみで施行されています。さらに、不整脈患者で最も多いとされる、心房細動へのカテーテルアブレーション治療を昨年11月より本格的に稼働させ、心室

性不整脈や他の難治性不整脈への積極的なアブレーション治療も開始し、今後週4-6例・年間200例を超える症例の増加が見込まれます。また、リードレスペースメーカーや皮下植え込み型除細動器(S-ICD)などの最新のデバイス治療についての提供も行っております。心不全に関しましては、2019年には補助循環装置のIMPELLAを導入し、心原性ショック症例に対して用いられています。また近年増加傾向にある慢性心不全に関しては、心肺運動負荷試験(CPX)を用いた心臓リハビリテーションを導入し、多職種連携や地域連携を通じた集学的な心不全治療を行っております。

このように、すべての循環器分野で最高レベルの診療体制の構築、安心・安全の医療の提供を目指して、循環器内科医局員一同が一丸となって日々診療に取り組んでおります。

今後とも患者さんのご紹介ならびにご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

循環器救急の患者さんをより迅速に治療につなげるために

新「循環器救急センター」のご紹介

心臓血管外科 教授 中島 博之



急性心筋梗塞や急性大動脈解離、大動脈瘤破裂などは1分1秒を争う循環器救急疾患です。本年1月に山梨県の循環器病対策推進計画が策定されたのを機に、山梨大学医学部附属病院では循環器救急センターの受け入れ手続きを見直すこととしました。具体的には循環器救急センター専従のERナースを配置し、専用の直通電話055-273-1119を開設しました。実質的な循環器救急のホットラインです。地域の先生方や救急隊からはこちらの番号に電話して頂き、専従ERナースが疾患や症状に応じて担当の循環器内科医または心臓血管外科医に転送します。そして基本的にその初回の電話で、手術や緊急カテーテル治療の受け入れ可否についてお返事いたします。これまでは手術室やICUのベッドの空きなどを確認しておりましたため、どうしてもお返事に時間を要す

ることがありましたが、今後は他の手術と重複しない限りは原則的に受け入れるという方針のもと対応いたします。これにより先生方からの最初のお電話から、搬送決定までの時間をかなり短縮でき、先生方のご負担を軽減できると期待しております。

さらに当院到着後はファストトラック患者として病院の全部門が最優先に対応することとし、患者さんの病院到着から緊急カテーテル治療や手術までの時間を短縮できるようにしました。病院の力を結集して、循環器救急疾患に対応して参ります。今後は055-273-1119の電話をご活用して頂き、お気づきの点がありましたら忌憚のないご意見をお寄せいただけましたら幸甚です。先生方のお声をもとに、循環器救急センターをこれからも改善して参りますので、引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

山梨大学医学部附属病院 循環器救急センター

(直通) 055-273-1119

「安心」で「最適」な呼吸器診療を受けて頂くために

「呼吸器内科」のご紹介

呼吸器内科 教授 副島 研造



呼吸器内科は、令和4年3月に旧第二内科から独立し、新たな診療・研究・教育体制となりました。

呼吸器疾患は、肺癌を中心とした悪性疾患、様々な呼吸器感染症、喘息に代表されるアレルギー疾患、呼吸不全に繋がる可能性のあるCOPDや間質性肺炎など多岐に渡っており、時に生命を左右する多くの難治性疾患を抱えております。

呼吸器内科では、一般病院では対応が難しい専門的、かつ総合的な対応が必要な患者さんの診療にいつでも対応できるよう、毎日初診外来の受入を実施しております。さらに肺癌患者さんについては、呼吸器外科と連携して毎日いつでもワンストップで紹介患者さんの対応が

可能な体制整備を進めております。ご相談したい患者さんがいらっしゃる時には、是非気軽にご紹介ください。

一方、山梨県内における呼吸器内科専門医は全国的に見ても不足しており、専門医の育成が喫緊の課題となっております。呼吸器内科では地域の連携病院と協力して地域医療の中核を担える知識、技術、チームワーク力、そして患者さんに寄り添える心を持った内科総合専門医および呼吸器内科専門医の育成を行い、地域医療の向上に貢献して参ります。

当院を受診されるすべての患者さんが、安心して最新かつ最適な医療を受けられるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

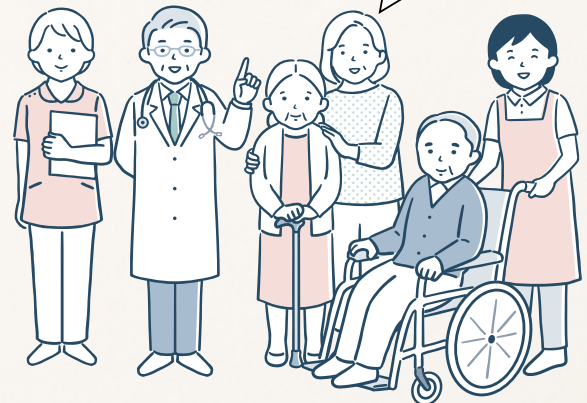
「紹介患者予約システム」のご案内

当院では、スマートフォンから手軽に予約の空き状況を確認でき、即時予約の取得が可能な「紹介患者予約システム（WEB予約）」を導入し、既にご登録いただいた医療機関様から大好評をいただいております。

つきましては、以下のQRコードまたは、URLから地域医療連携登医にご登録いただき、是非、簡単に迅速なWEB予約をご活用いただきますようご案内申し上げます。

スマホで
簡単予約！

待たなくて
良かった。



予約システムの
ご活用はこちらから

まず地域医療連携登医へ
ご登録！

ご質問・分からない時は
TEL:055-273-9815



- ①QRコードの読み取りまたは、URLにアクセス
- ②地域医療連携施設登録申請書に回答
⇒申請書を送信
- ③当院からIDとパスワード送付（郵送）
- ④発行されたID・パスワードにより初期情報登録

URL→<https://forms.gle/S9SzcHNadDwqWtNB7>